

# ことば村ニュース



2017年2月

この「ことば村ニュース」はイベント会場で配布しています。HPでもご覧いただけます。

2017年も早くも一か月が過ぎました。全国から大雪の便りが届きますが、お変わりなくお過ごしでしょうか。1月22日の市民フォーラムは、おかげさまで大成功と言える成果をおさめました。

## ★日本言語学会共催市民フォーラム「言語の多様性はなぜ必要か」

午前のワークショップはオセアニア言語の大角翠先生（東京女子大・ことば村理事）、アフリカ諸語の河内一博先生（防衛大）、シベリア・コリヤーク語の呉人恵先生（富山大学）、オーストロネシア諸語の長屋尚典先生による、それぞれの調査研究の実際の講演。その後2グループに分かれて若手研究者がフィールド調査の実地を学ぶワークショップ。市民も交えて、現地での情報の取り方やその人々との付き合い方など、たくさんの質問が飛び交いました。

午後は、前言語学会会長の言語学者・梶茂樹先生の「無文字社会の文字的コミュニケーション」と、前ユネスコ事務局長・松浦晃一郎氏「言語の多様性はなぜ必要かーユネスコの取り組みと自身の展望」の記念講演。梶先生の講演では、紙の耐久性を信頼できないアフリカの人々が、人間を記録媒体として人名でメッセージを伝える、縄を媒体にその結び目でメッセージを伝える。などの例を豊富に引いて、私たちがコミュニケーションとして思いうかべるイメージとは違う豊かな知恵をお話してくださいました。また、松浦氏は、文化の中枢には言語があると繰り返し強調、多様な言語・文化の保存にユネスコがどのように努力しているかをお話しされました。午後の部には120名を超える参加者。講演者の先生方や参加者のご協力を心から感謝しております。

当日の内容は、編集され、字幕付きでyoutubeにアップできるよう作業中です。お楽しみに！

## ★対訳絵本「日本の童話」英語版まもなく完成、スペイン語版の助成申請結果待ち。

クラウドファンディングによる対訳副教材「日本の童話」英語・日本語版は本誌が1月末に完成。引き続き朗読DVDの完成を目指し、2月中に支援者や、英語が公用語などのアフリカ諸国、フィリピン、インドなどのアジア諸国からの来日児童、また、帰国子女や日本語学校の生徒さんなどに、日本語学習と日本文化理解の役に立つよう贈られる予定です。

またペルーなどスペイン語圏からの在日児童へ贈るためのスペイン語版は、目下資金を助成団体応募中、無事採択されることを願っています。

## ★ことばのサロンの予定

### ●2月のことばのサロン

「レバノンにおける宗教・宗派とコミュニケーション」

話題提供：池田昭光先生（東京外国語大学）日時：2月11日（土・祭）午後2：00～4：30

会場：目黒青少年プラザ美術室（東急線・日比谷線中目黒駅徒歩10分）

レバノンをフィールドに言語やコミュニケーションなどの研究をされている池田先生を迎え、日本ではなかなか聞く機会の少ないレバノンの宗教、人々の暮らしなどについて聞きます。

### ●3月のことばのサロン

「福沢諭吉の英語—翻訳から考える日本の近代化」

話題提供：鈴木健次氏（元NHK教養番組プロデューサー・大正大学名誉教授）

日時：4月1日（土）午後2：00～4：30 会場：慶應義塾大学三田キャンパス南校舎445教室

### ●4月のことばのサロン

「阿部年晴先生を偲ぶ—阿部先生の仕事と人」

話題提供：小田亮先生（首都大学東京）日時：4月22日（土）14：00～16：30 会場：未定

## ★ことば村ホームページ

<http://www.chikyukotobamura.org/>

毎月の「ことば村ニュース」もHPに掲載中

## ★メールマガジン配信中！

毎月盛りだくさんの内容でお届け中。申込は—

<http://www.mag2.com/m/0000199577.html>